



ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2017年7月

第

264号

平成 29 年九州北部豪雨のお見舞

7月の九州地方の記録的な集中豪雨により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

避難されている皆様、復旧作業に従事されている皆様のご安全と被災地の日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

ナイス福岡 事務局



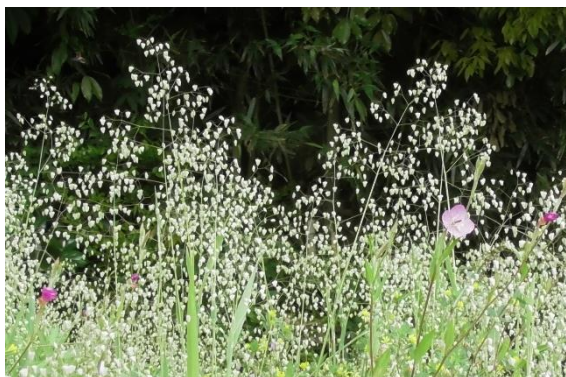
視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ⑱

曖昧な記憶での話で申し訳ないのですが、あるヨーロッパ（たぶんイギリス）出身の女性で、今は日本の文化や自然にどっぷりつかり、根を下ろして暮らしている人が、自作の詩を朗読していました。何気なく聞いていた時に、「おやっ」と思ったことがありました。それは、その人がエノコログサなどのイネ科の植物が風にそよぐ様子を見て、春の訪れを感じると言っていたことです。

私などは、エノコログサとかは秋というイメージです。そういえば、最近春早々から草むらにはイネ科の草がいっぱい出ていて、それらはどうも外国から入ってきた帰化植物が多いような・・・。

植物自身に罪はないとは思いつつ、いつの間にやら日本の季節感が変化してしまっているようで、何だかなあと感じてしまうのでした。〈さんじゃく〉



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎内クラブード内 TEL & FAX : 092-400-1765

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 74★

春日公園で、梅雨明けの夏を、ゆっくりと観察します。

★日時 7月16日（日） 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

◆2017 年度 福岡県自然観察指導員連絡協議会・定例総会概要報告◆

福岡県自然観察指導員連絡協議会 事務局

観察会参加者 3 名（安部・鶴田・田村）

定例総会参加者 9 名（安部・鶴田・永松・小野・松永・辛島・宮原・堀・田村）

◆定例総会（6/25（日））承認内容です。

- 1) 挨拶
- 2) 2016 年(2016 年 6 月～2017 年 5 月) 活動報告
- 3) 2017 年度活動計画
- 4) 決算と予算について
- 5) 事務局体制

議題内容



2) 2016 年度(2016/6～2017/5) 活動報告

2016 年 6 月 21 日から 2017 年 4 月まで（第 61 から 71 回まで）春日公園自然観察会 合計 53 名参加
6 月 26 日 総会前、自然観察会 in 春日公園 7 名参加
6 月 26 日 2015 年定例総会 於：県立春日公園管理センター 7 名参加
10 月 22/23 日 環境フェスティバルふくおか 2016 に出展（来場計 539 名） 延 10 名協力
10 月 20 日 福岡市保育協会の研修会（自然とのふれあい…大濠公園） 8 名協力
10 月 30 日 筑紫・糸島地区地域環境協議会自然観察会（春日公園） 58 名参加
11 月 1 日 八女市上陽町 秋祭り出店 4 名協力
11 月 27 日 和白干潟まつり（自然観察会） 2 名協力
5 月 18 日～25 日 福岡市役所 1 階の生きものと私たちの暮らし展 参加
5 月 21 日 第 72 回春日公園自然観察会（ふくおか生きもの見つけ隊 45 名） 50 名参加
その他関連 *『自然感 くすのき』のシリーズについて、始まり！終り！続いて！います。

★ぶつぶつぶやき 第 245 号から始めました。投稿者さんじゃくさん、よろしく。

★春日公園自然観察日記、充実！ ★私のデジカメ日誌より★窓越しの自然観察より

★会員各位の投稿 増加しています！！

春日公園での探鳥会に協力（日本野鳥の会福岡支部とナイス福岡の共同実施）

【各会員の所属する団体の活動】

◇三国丘陵の自然を楽しむ会 松永紀代子会員活動報告

2016 年 7/2～2017 年 6/3 まで 12 回の観察会 参加者 の合計 172 名（大人と子供合わせて）

三沢遺跡自然観察リーフレット作成

三沢ビオトーププロジェクトの締めとして、自然観察リーフレットを作成。編集委員会をこれまで 9 回開催。

◇和白干潟を守る会 ナイス福岡(山本広子会員)の主な活動報告

2016 年 5/22（月）・2016 年 6/4（日）和白干潟観察会実施、参加者は案内人を含め 74 名

◇青葉パークネイチャークラブ平成 28 年度も活動しました。

◇北九州市での西藤 誓志也会員の活動報告

2016 年から 2017 年にかけて、北九州市の山田緑地を中心に 11 回観察会実施。

つるた自然塾（鶴田義明会員）

2016 年度の私の活動の中から、主なもの恒例のもの 10 選あり。

他にも多数のイベントが入っています。これらの下見&打ち合わせや、個人的な活動を含めると毎年 60 日（件）以上は野外で活動していることになります。

喜寿を迎え、そろそろソフトランディングをしていきたいと思っていますところ。

3) 《 2017 年(2017 年 6 月～2018 年 5 月) 活動計画 》

* 九州歴史資料館周辺での観察会 三国丘陵の自然を楽しむ会に協力。奥山ではなく、すぐ足元にある身近な自然に目を向けてもらうために、今後とも観察会を継続。

* 青葉パークネイチャークラブの観察会等、青葉公園にて自然観察会他。

* 環境フェスティバルふくおか 2017 [10 月 21（土）22（日）の 2 日間] 協力予定

* 福岡県営春日公園での観察会協力予定と自然かんさつ館の活用

* ナイス福岡のホームページ掲示板の活用

『春日公園でのいろいろな観察会』は継続して実施したい。

毎月第1火曜日 10時から12時まで 定期的な探鳥会

毎月第3日曜日 14時から16時まで 定期的な自然観察会

毎月第4日曜日 9時から12時まで 定期的な野あそびの紹介

◇「この場所で実施したい」という候補地を挙げて、みんなで協力して実施しましょう！

その他、自然観察を楽しみたい場所があれば、提案して下さい。自由な方法で、そして、みんなで楽しみ、自然保護を考えていきたいと思ひます。

毎月1回『第2金曜日の夜』は、定例会で会報発送と情報交換を！是非参加してください。

4) 2016年度会計報告、2017年度予算

会計の宮原俊彦から報告。 次頁 参照。

環境フェスティバルふくおか 2016



5) 事務局体制 について

《2017年度役員》新しい会員の参加を希望しています。

代表：田村耕作、事務局長：小野仁 事務局：藤川渡、山本弘子

編集：田村耕作、山本勝、松永紀代子、永松愛子

会計：宮原俊彦 監査：堀謙治、辛島真由美

2016年決算報告(2016年6月1日から2017年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (b-a)	備考
繰越金	64,529	64,529	0	
会費	100,000	170,000	70,000	会員数68名(総会時等32千円、郵便振替138千円)
その他	16,471	13,845	-2,626	観察会参加費13,845円、利息0円
合計	181,000	248,374	67,374	(収入計-繰越金)/会員数≒2703円/人

(支出)

(単位:円)

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (a-b)	備考
総会運営	1,000	1,890	-890	会議室使用料、コピー代等
会報発送	110,000	88,804	21,196	送料45,100円 コピー代43,704円
事務局費	70,000	70,130	-130	事務局定額経費12ヶ月*5千円
予備費	0	0	0	ホームページ作製管理1万円、振替手数料
合計	181,000	160,824	20,176	支出計/会員数≒2,365円/人(339円/人)

収入額-支出額=次年度繰越金
248,374 - 160,824 = 87,550
87,550 円は次年度繰越金

会計監査報告

会計報告をいたします。支払い伝票はよく整理され、支出項目も適正に処理されていました。金額の不備ありませんでした。謹んで報告いたします。

2017年6月25日

堀 謙治
辛島 真由美

2017年予算(2017年6月1日から2018年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
繰越金	87,550	64,529	23,021	
会費	70,000	100,000	-30,000	
その他	10,450	16,471	-6,021	観察会収入等
合計	168,000	181,000	-13,000	

(支出)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
総会運営	2,000	1,000	1,000	
会報発送	72,000	110,000	-38,000	
事務局費	70,000	70,000	0	事務局定額経費12ヶ月*5千円
予備費	24,000	0	24,000	ホームページ作製管理等
合計	168,000	181,000	-13,000	

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

集合時間、ご注意ください。

7 / 1 6 (日) 8 / 2 0 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

7 / 2 3 (日) 8 / 2 7 (日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

8 / 6 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

8 / 1 2 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

8 / 1 3 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8 / 1 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

日本野鳥の会 筑後支部 共催

福岡植物友の会 主催

7 / 29 (土) 矢部川をつなぐ会主催
有明海の干潟と三池島ベニアジサシ（大川市）
時 間：9:30～12:00
集 合：若津港・花宗渡船場
問合せ：090-7159-3933（松富士）

7 / 1 6 (日)
山の神川（北九州市小倉南区）
参加は有料 要予約
問合せ：092-662-2983（佃 昇）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

8 / 5 (第1土曜日)
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
参加費：200 円（大人のみ）

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



ツバメシジミ産卵・クローバー蕾 三国松永



寄生されたカメムシ科の卵を調べるコガネコバチ科の寄生蜂

和白干潟を守る会 主催

7 / 2 2 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7 / 2 2 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会

第Ⅴ記

「身近な植物」ボランティア講座

実施日 7月27日 8月31日
9月28日

要事前申込

時 間：9:30～12:00

集 合：高良大社下宮社

問合せ：090-1346-0460（橋田沙弓）

hashida@kurumenoshizen.net

会員からの投稿「和白干潟のハマナデシコ

「和白干潟沿岸では夏の花、ハマナデシコがピンクの花を咲かせています。

干潟では鳥たちに代わって、色んなカニや貝が目立っています。」

山本廣子



「観察していたら観察されました」 春日市在住 ねこ

6月はじめ、野鳥観察の目的で佐賀に行って来ました。見晴らしの良い目的地に向かうべく、林内を歩いていると、あと少しで到着と言う所でミツバチの巣を発見。それは、生きた樹の根本の洞に作られた巣でした。ミツバチの巣と言えば、いつも見るのは四角い箱や幹をくり貫いて作られた人工的な巣箱。天然の巣を見たのは初めてで、嬉しくなりました。ミツバチ達は、まだ体温が上がっていないのか、巣の入り口付近でじっとしていました。

その後、直ぐに目的地に到着し、腰を落ち着けて観察するために椅子を設置して準備万端。椅子に座って観察していると、直ぐ近くでブーンと言う低音の羽音が聞こえて来ました。音のする方を見ると、私の顔の位置と同じ高さで停空飛翔するクマバチが、こちらに顔を向けて空中に停まっていました。その距離50センチ強。空中の一点に留まり、此方を伺っている様子。停空飛翔でひたすら縄張りを警戒している様子から♂個体のようです。それなら刺される心配もないので、私も慌てず観察。クマバチは私の正面に陣取り、じっと此方を見えています。人だったら間近で顔を突き合わせ凝視されている感じです。暫くすると、私の動きが特に無い事に安心したのか、周囲の縄張り探索に戻って行きました。

クマバチの行動が面白かったなと思いつつ、私も野鳥観察再開です。遠くで鳴くホトトギスの声に耳を澄ませていると頭上から「ジュリリッピチュッ」と言う耳に覚えのある声が。見上げると、居ましたイワツバメです。短い尾羽を広げ飛び回っています。餌を探して飛んでいるのでしょうか。時計は10時を回っていて気温も上がり、昆虫達も活発になっているはず。そうこうしていると、耳で「ブーブブッ、ブン、ブズブン」と先ほどよりも忙しない羽音が聞こえ始めました。アブ？ハエ？と思いながら、正体を見極めるため視線を巡らせると、顔の直ぐ横をかすめるように飛んだミツバチの姿が見えました。どうやら3~4匹のミツバチが私を取り囲んでウロウロしているようです。ミツバチにこんな風に囲まれたのは初めてです。ふと思い浮かんだのは、途中で発見したミツバチの巣でした。きっと、その巣の働き蜂達が私を偵察に来たのだらうと思いました。働き蜂は早なので、危険を感じれば刺します。なるべく刺激しないようにじっとしつつ、髪の毛に潜ったり口に止まったりするミツバチをそっと他所に押しやりながら、暫くの間、ミツバチと過ごしました。その後、幸い刺される事もなくミツバチは去って行きました。汗を吸いに来たのかなとも思いましたが、髪の毛や瞳の周辺など黒い箇所を中心にまとわりつくように飛び回って居たので、やはり警戒態勢だったのかと。

私としては領域を侵すつもりは無かったのですが、クマバチもミツバチも、自分の縄張りに見かけない物体？が居座って「何者か！」と緊張した事でしょう。警戒されてじっくり観察（偵察）されてしまいました。



【樹の洞につくられたミツバチの巣】

天然の樹洞に巣をつくり体色も黒ずんでいることから、おそらくニホンミツバチ

蜂の針は産卵管が進化したものなので、卵を産まない♂は針を持っておらず基本的に刺すことは無い

働き蜂は早なので、卵を産むことは無くとも針を持っているので危険を察知すれば刺します

【クマバチ（キムネクマバチ）の標本】

左♂、右♀

♂は♀より複眼が大きく、顔の一部が黄色い



2017年6月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、6月1日（旧暦5月7日）～6月30日（旧暦閏5月7日）までのデジカメ日誌です。



6月2日（旧暦5月8日） 福岡市東区馬出九大病院
九大病院と薬学部の間「エフェドリン発見のリンデンbaum」として、この樹は在る。ベルリンのウンターデンリンデン通りのセイヨウシナノキ（菩提樹）の種子から発芽したもの。興味のある方は是非お訪ね下さい。



6月4日（旧暦5月10日） 筑紫野市山口天拝湖
ジャコウアゲハ♀ににているが、アゲハモドキである。体内に毒のあるジャコウアゲハに擬態している。お腹や足の赤色を見るといかにも毒々しいが毒はないのだろうね。



6月11日（旧暦5月17日） 筑紫野市天拝坂
今年生れのムクドリの幼鳥が親から食事をもらっている。羽のある昆虫のようだ。ギャギャアとうるさい鳥だが、こういう場面を観るとなぜか和んでしまう。



6月4日（旧暦5月10日） 筑紫野市武蔵天拝山
コロロ コロロと優しい声に探すなかなか見つからない。妻が先に見つけた。ちょっと悔しい。シュレーゲルアオガエルのみは喉に鳴嚢があり、これを膨らませて鳴いている。タヌキがこれの卵塊を食べることもあるという。



6月6日（旧暦5月12日） 福岡市中央区春吉
今年も雷橋のジャカランダが咲いた。マメ科ではなくノウゼンカズラ科のキリモドキが和名のようだ。黒いのはさく果で薄っぺらいが中に種がたくさんあった。



6月29日（旧暦閏5月6日） 筑紫野市天拝坂
こちらも今年生れのすずめの幼鳥である。食べ物は自分で探すという感じか。嘴はまだ黄色いんだけどね。

会員からの投稿 渋谷 和美

こんばんは。昨日、7/9 早朝、小竹町まで行ってきました。
6 時まではヨシゴイ何度も飛んでくれました。
が、6 時すぎるとほとんど飛ばず・・・
早朝しか見れない鳥の代表ですね。
他にササゴイ、ゴイサギ、など 3 ゴイに会えました。
オオヨシキリもちろん元気でした。

撮影は夫



書籍の紹介 お江戸舟遊び瓦版 520 号に掲載されていた。



その一部を紹介します。

伊沢正名 「葉っぱのぐそをはじめよう」山と溪谷社 17.30.
「糞土思想」が地球を救う

1. ノグソは命の返し方

- ・ ウンコは、動植物の遺骸とともに菌類に食べられ、分解されて土に還り、植物という新たな命に生まれ変わります。自然の中で、死から生へと命がめぐる生態系の循環。その鍵がウンコにあることを知り、尿尿処理場反対運動をキッカケに始まった私のノグソ行。自然と人間の共生を目指し、生き物社会の一員として生きていこうとフン張りつづけるうちに、人の生き方だけでなく、人間社会の進むべき方向までノグソの中に見えてきました。
- ・ 無機物から有機物を作りだす植物。その植物を食べて生きる草原動物。その草原動物を食べる肉食動物。それをさらに強い肉食動物が食べて生きるという食物連鎖。その頂点にいるライオンやワシ・タカなどは最も残忍な食べ方をする動物かも知れません。ところが、彼らは自然を破壊するどころか、その中できちんと共生しています。
- ・ その一方で、食に感謝したり、命を奪いたくないと肉食を拒否するベジタリアンまでいる人間だけが、この地球上で唯一自然を破壊しています。ライオンやワシ・タカたちは、間違ってもトイレなど使わず、毎日ノグソをしています。命を返すノグソをするかしないかが鍵なのです。
- ・ 人間は産業革命以降、科学の発達により強大な力を持ち、より豊かになりたいという欲望のままに、地上だけでなく地下や海底まで手を伸ばして資源を奪い合い、環境を破壊し汚染し、多くの生き物を絶滅に追いやってきました。石炭や石油などの化石燃料を掘り起し、燃やし、膨大な量の CO2 を大気中にばらまき、気候変動などの深刻な地球温暖化問題を起こしています。
- ・ 「食は権利、ウンコは責任、ノグソは命の返し方」は、すべての生き物の基本です。「ウンコに向き合うことは、自分自身の生きる責任に向き合うこと」。ウンコを通して見えてきた基本です。
- ・ 責任とは、何か悪いことをしてしまった時の後始末の問題です。戦争では人を殺し、殺される、そのことに責任を持てるのか？原発ならば、放射性廃棄物や事故などでの放射能汚染に責任を持てるのか？できないなら、戦争も原発も拒絶する。領土や資源、金や電気などを欲する以上に、その裏にある責任を優先させることが大事です。
- ・ これまでに私が達成したノグソの累計は 1 万 3600 回。イチローがメジャーリーグで年間 200 本安打の連続記録を伸ばし続けている時でした。[イチローに負けじと発糞まわりを打ち]
- ・ 葉っぱノグソの探求は、やわらかさ、尻触りの良さ、ふき取り力の高さ等など、素晴らしい葉っぱとの出会いがありました。

都市公園で自然観察会 73回 参加者4名

H29年6月18日(日)

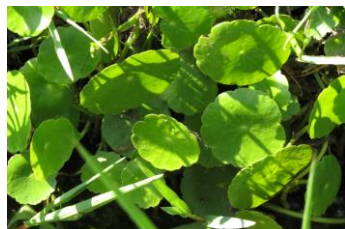
テーマ：春日公園の湿地環境で生きものを探し

1. 観察した内容

公園内の調整池内にある溝に沿うように水分の多い湿地環境が形成されている。この付近を丁寧に観察すると、湿地環境を好む生きものに出会えました。

2. 感想

微妙な自然環境に丁寧な観察が大事なんだと改めて思ったしだいです。ありがとうございました(田字草)。



ウチワゼニクサ



アオモンイトンボ



コケオトギリ



ベニイトンボ➡

他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第194号 17. 7. 1
「鳥信で募集する野鳥たち」ハクセキレイの生態などを掲載
- ・島根県自然観察指導員連絡協議会 おとしぶみ Vol.107 2017. 6. 25
「第11回鳥取・島根自然観察指導員交流会(三郡山)」の報告などを掲載
- ・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第164号 2017. 6. 15
「お庭で自然観察を楽しむ・バラの木に登ったカタツムリ・ヒガンバナに種がなった？」などを掲載。
- ・北海道自然観察協議会 自然観察 No.122 (2017. 6. 15)
特別レポート 日高最大の越冬地、静内川のワシを守るなどを掲載
- ・福岡植物友の会 会報 平成29年7月号 第58巻
福岡市東区の長谷ダムでの観察会報告、などを掲載

参加費・寄付金の報告 2017年5/21の参加費5,400円 6/18の参加費400円

◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスは最初のページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、平成29年8月11日(金)午後6時より事務局で行います。2017年8月号の原稿は、2017年8/7(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆◆編集後記◆◆◆ 2017年6月の定例発送会は、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加しました。

北部九州は、空梅雨を思わせるような天気が続いたが、未曾有の大雨が続いた。

7/1(土)のお昼前後、近くの西油山林道を散策しました。独特の飛び方をする

イシガケチョウを見かけ、何処かに止まってくれるのを辛抱強く待つ、撮影。

その後、ゆっくりと移動。途中けたたましい鳴き声が樹林の間から聞こえた。

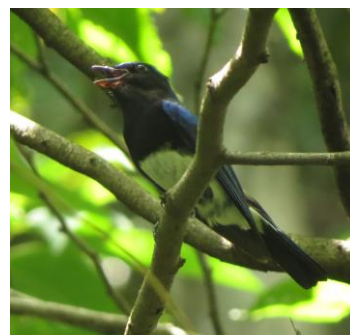
周りを注意深く鳥の姿を探し、運良く見つけた。オオルリ♂がいつもより早い

テンポで鳴いていた。木の天辺での囀りとは明らかに異なっていた。

繁殖中に何か異変、天敵に巣を襲われたのか。メスも声を出していた。

思わぬ出会いに暫くその姿と鳴き声をたつぷりと観察できた。やっぱり、

暑くても野外を歩くと、感動に出会えるということですね。(田字草)



激しく鳴いていたオオルリ (♂)